事務事業調書	No	358	課 名	健康推進課	起 案 者	廣村聡
平成23年度			係 名	予防係	決 裁 者	深津隆
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	27
事務事業名	更生病院・八千代病院救急医療補助事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	20-5-5
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事務）	法定受託事務	無
根拠法令	有	安城市救急医療事業補助金交付要綱	
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	有	小児専用救急センターについて	
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	救急患者が	～になる	救急医療を受けられる。
事務事業の内容	市民の健康を守るとともに医療サービスの向上のため、第２次救急医療施設（八千代病院）と第３次救急医療施設（安城更生病院）の救急医療に対して補助を行います。			
事務事業進捗状況	救命外来受診患者数　安城更生病院　八千代病院 １９年度　38,275人　10,884人 ２０年度　35,119人　10,651人 ２１年度　40,549人　13,132人 ２２年度　37,835人　11,993人			
改善・対策の履歴	市民のコンビニ受診を防ぐため、各病院で広報紙を作成し、近況報告をしている。平成22年度は、救急のかかり方、かかりつけ医のすすめ、休日急病診療所の診療時間などを広報（9/1号）折り込みチラシ、ホームページ、幼・保育園保護者へのチラシ配布（12/10）により市民へ周知を図った。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		107,126	107,126	107,126	107,126	107,126	107,126	107,126
	財 源 計 a		106,900	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他(　)	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		226	226	226	226	226	226	226
	内 訳	従 事 職 員 数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	補助金の支払	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費f 実績	107,126	107,126	107,126	
				単位コストg=f÷b 実績	107,125.90	107,125.90	107,125.90	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	安城更生病院救急受診患者数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	35,119.00	40,549.00	37,835.00	
			達成状況				
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		八千代病院救急受診患者数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	10,651.00	13,132.00	11,993.00	
			達成状況				
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	救急・急病の時、市民の安全・安心を得ることができた。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	救急医療体制を確保するため、予算の範囲内で補助をした。
	成果1，2	更生病院・八千代病院での救急患者受入れにより、市民の安全・安心が得られた。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	市民にとって市内に２４時間開院している２病院の急病施設があることは、安心して生活ができ、医療サービスに多いに役にたっており、意義ある事業です。両病院の救急医療体制を確保するため、かかりつけ医のすすめ・救急時の受診方法などについて広報等で市民へ周知します。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	両病院は市内の救急患者の医療を担当しており、市民の安心・安全を得るため引き続き補助を行います。